

平成29年度第3回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 平成30年3月15日(木) 13:30~14:20

2 場 所 新発田市役所別館 4階会議室

3 出席者 ・協議会委員

下妻勇会長、庭山與一委員(代理:庭山奈津子)、渡邊博幸委員(代理:青野秀明)、笹川岳之委員(代理:五十嵐務)、倉島隆夫委員、吉田良一委員(代理:土屋比呂人)、長谷川芳三委員、大塚一彦委員、佐藤肇一委員、小松美保子委員、佐藤美由紀委員、久志田実委員

以上12名

・事務局(市民まちづくり支援課)

宮村崇康課長補佐、佐藤芙美子係長、宮村綾子主任、斎藤正太郎主事

4 会議概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 議 事

【第1号議案】平成29年度補正予算(案)について
事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。

(意見等なし)

議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第2号議案】平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について
事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。

委 員 : 歳出の事業費の利用促進は8,817円だが、事業計画の利用促進は相当ある。これにかかる経費がこれということか。

事 務 局 : ポケットティッシュを購入して、あやめバスの時刻表やお得情報を名刺サイズのカードにして入れ、イベント等で配布している。

委 員 : パンフレット等の作成経費はどうしているのか。

事 務 局 : パンフレット等の作成経費は市の予算から支出している。

委 員 : 本年度と前年度の予算を比較すると2,600万円ほど増えている。松浦地区のデマンドの分だと思ったが、備考欄のデマンドの経費は1,400万円

で、差し引いても1,200万円くらい増えているが、どんな経費か。

事務局：市街地循環バス運行経費の修繕料が前年度より多くなっている。川東コミュニティバス運行経費の修繕料も同様で、双方とも車両修繕にかかる経費の増である。

併せて、バス事業者に直接交付される国の補助金があるが、前年度までは事前算定で、その分を予め控除した形で予算計上していた。30年度からは事後算定となり、現段階では額が確定していないため、その分約1,000万円を加えた形で予算計上している。最終的には、補助金の額が確定した段階で、その分を減額させていただきたい。

委員：28年度の実績を見せていただいたが、国や県の補助金は活性化協議会の予算や決算では分からず、あやめバスや川東コミュニティバスの実績でも国や県の補助金がない形で示されていた。この協議会で運行しているという立場であれば、補助金を含めて運賃収入などでも足りない分を、本協議会が支出していることが全部見えるような資料をいただきたい。

委員：関連して、歳出は補助金を引いた額ということか。

事務局：前年度等の利用状況を見た中で、見込めるものを予め減額している。

委員：歳入に補助金が入っていないということで理解する。

以上の質疑の後、議長から諮り、全員異議なく承認された。

(4) 報告

①市街地循環バス（あやめバス）の利用状況について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。

委員：「平成18年11月実証実験、平成24年4月本格運行」とあるが、実証実験と本格運行では何が違うのか。

事務局：実証実験期間は、沿線の商業施設や高校生などの意見を踏まえながら、随時、運賃・ルート・ダイヤの見直しを行ってきた。本格運行では、ある程度決まった運行内容で運行を開始したというものである。

(5) その他

事務局：4月2日に松浦地区デマンド乗合タクシーの出発式を予定している。本来であれば、皆様にご案内をすべきところだが、年度初めの月曜日の早朝7時から開催のため、本協議会を代表して会長の出席を予定している。

委員：議題の事業計画（案）の利用促進のところでも、網形成計画の項目との関連づけをされているが、網形成計画の取組の効果検証を来年度行うと思う

ので、次回の協議会で報告してほしい。

委員：4月から松浦地区デマンド乗合タクシーの実証運行を開始すると併せて、学校統合なども含めて全市的に公共交通の整備をしていこうということで、4月1日からは市民まちづくり支援課の係から室に格上げをして、今まで以上に公共交通に力を入れていこうと考えている。

委員：デマンドは、この時間に走るから、この時間に予約を取るのか。

事務局：時刻表のとおり、概ねこの時間にこの停留所を通るというものだが、予約が無ければ、停留所に止まらず、最短ルートで運行する。

委員：予約が無くても運行するのか。

事務局：予約が0人であれば運行しないが、1人でも予約があれば運行する。

(6) 閉会